



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月3日

上場会社名 ホクト株式会社  
 コード番号 1379 URL <http://www.hokto-kinoko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 雅義  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 高藤 富夫  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 026-259-5955

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	41,914	17.3	2,820	232.9	4,002	179.4	2,229	283.6
25年3月期第3四半期	35,746	△5.5	847	△83.9	1,432	△71.1	581	△76.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,539百万円 (271.8%) 25年3月期第3四半期 683百万円 (△70.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第3四半期	70.12	70.12
25年3月期第3四半期	17.70	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	76,987	46,104	59.8
25年3月期	66,515	45,324	68.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 46,033百万円 25年3月期 45,251百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	10.00	—	47.00	57.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	47.00	57.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	56,000	15.7	3,500	48.3	3,700	△0.1	2,260	42.7	67.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社アーデン、除外 1社 (社名) ホクトメディカル株式会社  
詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	33,359,040 株	25年3月期	33,359,040 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,548,496 株	25年3月期	1,580,277 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	31,795,679 株	25年3月期3Q	32,829,226 株

(注)自己株式数には、従業員持株ESOP信託口の保有する当社株式211,100株を含めて表示しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や金融緩和政策を背景とした円安や株高が継続して進行したことから、輸出関連企業を中心として景気は緩やかながら回復基調となりました。しかしながら、円安に伴う輸入原材料の価格上昇や米国の金融政策の動向による海外景気の下振れリスクなどが懸念され、先行き不透明な状況が続いております。また個人消費におきましては、低価格競争の緩和により企業収益が回復してきたことや消費支出の緩やかな増加により一部持ち直しの動きが見られたものの、個人所得や雇用環境の改善にはもう少し時間がかかるものと思われ、引き続き消費者の生活防衛意識からくる節約志向や平成26年4月から予定されております消費税の増税への懸念もあり、厳しい経営環境で推移しております。

このような経済環境の中、当社グループは製品の安全性に万全の体制で臨むとともに、各事業におきまして収益の拡大に努めてまいりました。中核を占めますきのこ事業につきましては、国内において来期出荷開始となる福岡八女の2番目のきのこセンターの建設準備を始めました。また、海外においては東南アジアを中心とした輸出の拡大や来期出荷開始予定のマレーシア現地法人によるきのこセンターの建設を進めるなど、積極的な事業拡大を図ってまいりました。化成品事業につきましては、引き続き飲食用容器の製造販売に力を入れるとともに、工業系及び事務系資材の販売に積極的に取り組んでまいりました。

また今後のきのこ事業の戦略的な事業展開と経営効率の向上を目的として、レトルト食品製造会社を子会社化いたしました。新たにレトルト食品事業として報告セグメントとしており、堅調に受注製造を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は419億14百万円（前年同四半期比17.3%増）、営業利益28億200百万円（同232.9%増）、経常利益40億2百万円（同179.4%増）、四半期純利益22億290百万円（同283.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### [きのこ事業]

きのこ事業におきましては、生産の拡大と品質の向上、販売の強化を中心に業績の拡大に努めてまいりました。主力となる国内の生産状況につきましては、新設いたしました上田第二きのこセンターが9月よりマイタケの出荷を開始いたしました。また、きのこ市場におきましてはこれまで供給過剰気味となっておりましたが、市場全体が生産調整の時期を脱し始め僅かながら上向いてきたため徐々に増加させてまいりました。海外につきましては、台湾の現地法人台湾北斗生技股份有限公司におきまして昨年よりブナシメジの出荷を開始した第二きのこセンターが通年寄与となったことや、米国の現地法人HOKTO KINOKO COMPANYにおきまして全般的に稼働を高めたことなどにより、海外全体でも生産量が増加いたしました。

この結果、グループ全体での生産量は増加し、当第3四半期連結累計期間の生産量は、ブナピーを含めブナシメジが33,030 t（前年同四半期比1.3%増）、エリンギ14,742 t（同0.8%減）、マイタケ9,047 t（同6.1%増）となりました。販売面におきましても、市場全体の調整局面に一服感が見られ相場の動きが上向いてきたことや例年と比較し寒冷な気候からくるきのこ需要の盛り上がりに加え、「菌活」を合言葉として菌類を食することによる健康な体作りをテーマにブランドの展開を行ってきたことなどもあり、きのこ単価は堅調に推移いたしました。

以上の結果、きのこ事業全体の売上高は335億78百万円（同15.6%増）となりました。

#### [化成品事業]

化成品事業におきましては、原油価格の高止まりからくる売上原価の値上がりにより、厳しい販売環境となっております。そのような環境の中、飲食用容器の製造販売に力を入れるとともに、工業系資材や事務系資材の営業の拡大を積極的に進めております。また既存の取引につきましてもきめ細やかな営業を展開するなど販売活動に努めてまいりましたが、売上高は計画を僅かに下回り推移いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は69億58百万円（同3.9%増）となりました。

#### [レトルト食品事業]

レトルト食品事業につきましては、カレーやパスタ、鍋つゆを中心に消費が拡大したことから、レトルト食品メーカーに対してきめ細やかに対応することにより受注を増加させ、売上高は計画を僅かに上回り推移いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は13億78百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## ①資産の部

資産の部は、769億87百万円となり、前連結会計年度末より104億72百万円増加いたしました。流動資産は172億26百万円となり前連結会計年度末より34億88百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金33億36百万円の増加によるものであります。固定資産は597億61百万円となり、前連結会計年度末より69億83百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産59億16百万円の増加によるものであります。

## ②負債の部

負債の部は、308億82百万円となり、前連結会計年度末より96億91百万円増加いたしました。流動負債は264億73百万円となり前連結会計年度末より90億43百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金14億50百万円の増加及び短期借入金55億円の増加によるものであります。固定負債は44億9百万円となり、前連結会計年度末より6億48百万円の増加となりました。これは主に長期借入金2億15百万円及び引当金3億24百万円の増加によるものであります。

## ③純資産の部

純資産の部は461億4百万円となり、前連結会計年度末より7億80百万円の増加となりました。これは主に配当金18億25百万円の支払と四半期連結純利益22億29百万円の計上による利益剰余金4億17百万円の減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、世界的な経済情勢が不透明な状況で推移していることや輸入原材料等の円安による価格上昇と平成26年4月から始まる消費税増税への懸念などからくる国内景気の下振れ不安、きのこ市場が暖冬などの天候要因や市場環境に影響されるなど通期の見通しに対し不透明な要因もあることから、平成25年10月29日公表の通期業績予想を据え置くことといたしました。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

ホクトメディカル株式会社は当社と合併したため、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。また、第2四半期連結会計期間より株式会社アーデンを子会社化したため、連結の範囲に含めております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,181	4,025
受取手形及び売掛金	4,033	7,370
商品及び製品	1,502	1,403
仕掛品	2,915	3,283
原材料及び貯蔵品	475	650
その他	653	504
貸倒引当金	△24	△10
流動資産合計	13,737	17,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	42,300	45,946
減価償却累計額	△17,332	△19,324
建物及び構築物(純額)	24,968	26,622
機械装置及び運搬具	24,227	28,993
減価償却累計額	△14,230	△16,515
機械装置及び運搬具(純額)	9,996	12,478
土地	11,260	12,378
その他	2,059	2,921
減価償却累計額	△1,052	△1,252
その他(純額)	1,007	1,668
有形固定資産合計	47,232	53,148
無形固定資産		
のれん	—	763
その他	282	232
無形固定資産合計	282	996
投資その他の資産	5,262	5,616
固定資産合計	52,777	59,761
資産合計	66,515	76,987
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,307	5,758
短期借入金	7,500	13,000
未払法人税等	1,504	1,704
賞与引当金	709	463
その他	3,408	5,547
流動負債合計	17,430	26,473
固定負債		
長期借入金	3,521	3,737
引当金	0	324
資産除去債務	147	170
その他	90	176
固定負債合計	3,760	4,409
負債合計	21,190	30,882

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	5,695	5,704
利益剰余金	36,776	37,194
自己株式	△2,784	△2,739
株主資本合計	45,187	45,659
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	481	784
為替換算調整勘定	△417	△410
その他の包括利益累計額合計	63	374
新株予約権	72	71
純資産合計	45,324	46,104
負債純資産合計	66,515	76,987

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	35,746	41,914
売上原価	26,413	29,943
売上総利益	9,332	11,971
販売費及び一般管理費		
販売手数料	2,180	2,483
運搬費	2,290	2,399
賞与引当金繰入額	50	68
貸倒引当金繰入額	20	18
その他	3,942	4,179
販売費及び一般管理費合計	8,485	9,150
営業利益	847	2,820
営業外収益		
受取利息	—	11
受取配当金	66	99
受取地代家賃	144	161
為替差益	327	812
その他	127	168
営業外収益合計	665	1,253
営業外費用		
支払利息	68	70
その他	11	1
営業外費用合計	80	72
経常利益	1,432	4,002
特別利益		
投資有価証券売却益	—	60
その他	2	14
特別利益合計	2	75
特別損失		
固定資産売却損	37	—
固定資産除却損	10	1
投資有価証券売却損	—	1
特別損失合計	48	3
税金等調整前四半期純利益	1,387	4,074
法人税、住民税及び事業税	465	1,741
法人税等調整額	340	103
法人税等合計	805	1,844
少数株主損益調整前四半期純利益	581	2,229
四半期純利益	581	2,229



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	581	2,229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	303
為替換算調整勘定	94	6
その他の包括利益合計	101	310
四半期包括利益	683	2,539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	683	2,539
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。